

## 「全鍍連」 2022年 7月号 理事長のよこがお

四国鍍金工業組合 上村 芳久 (株)ユーミック 代表取締役)

### 「野菜づくりのススメ」

四国鍍金工業組合の上村です。去る5月14日(土)ようやく当組合の総会を香川県高松市にて対面で開催することが出来ました。直近2年間は書面決議のみ、この間の理事会役員会はwebを利用しましたが実際の活動に繋がらないのもつぱら報告事項がほとんどでした。久しぶりの総会には経済産業局や中央会の方も貴重なお休みにもかかわらず出席していただきました。総会後の懇親会は今回立食形式ではなく座席で黙食後、場所を変えマスク着用しての会話会場を設けておりましたが乾杯後には黙食どころか会話全開…、まあ自粛自粛ばかりが続きましから仕方がないですね。今回会社からまだ一定人数以上の会には出はだめというところも何社かあったようで、総じて少人数ではあったものの会って話す際の目線や表情の親しみはwebでは得られないものと改めて感じる事が出来ました。今年度は出来るだけ通常運転を目指し早速納涼会を徳島市にて開催決定しました。役員以外の組合員や青年部会にも呼びかけ笑顔と活力の出る会にしたいと考えます。さらに年内に愛媛・高知でも開催したいものです。コロナウィルスがこれ以上厄介な株に変異せずおとなしくしてくれることを願います。

さて全く話は変わりますが、ここ十数年家庭菜園が趣味になり季節ごとの野菜や果物を失敗もしながら楽しく栽培しておりましたが、このコロナ自粛でやることも無いのでさらに拍車がかかってしまいました。15坪程とさほど大きくもないのですが休日の天候も悪くない日は結構な時間狭い畑に張り付いて耕したり草むしりをしたりと励んでおります。あまりに雑草を血眼で探して抜くため我が畑で雑草は生息を許されず隣の田んぼの所有者からは「すごいな、あなたのところは草一本生えとらん、こっちも気が抜けんわ」と言われております。梅雨から夏場は一気に草ぼうぼうになりますのでこれからまた正念場です。

収穫した野菜や果物は基本我が家で消費するのですが種類によっては収穫の多くを近所に配り近隣外交友好の一助になっていると思っています(多分)。今年は北海道の玉ねぎが不作のため1個百円以上の高値で、極早生、晩生、赤玉ねぎと併せ3百個以上育てたましたのでどんどん差し上げたところ非常に喜ばれ、お礼にと様々なお返しを頂きました。まあ玉ねぎ版のわらしべ長者でしょうか。夏野菜はほぼ植え終わりましたがジャガイモとニンニクの収穫がそろそろで、ここにサツマイモを植え付ければ後は収穫待ちです。

現在世界中で小麦等の食料不足が懸念されています。当然家庭菜園程度では話にならないのですがご家庭の自給率を上げるため僅かな土地でも、またプランターによる栽培も可能です。採れたての無農薬野菜の味は格別です。できた時の喜びは大きいです。少しからでもチャレンジしませんか。

ここに来て日本ではマスクを外す環境を模索しているようです。しかし私は収穫予定のニンニクを食すため当分マスクを外すつもりはありません。

